

第3回東日本大震災に関する活動助成 活動報告書

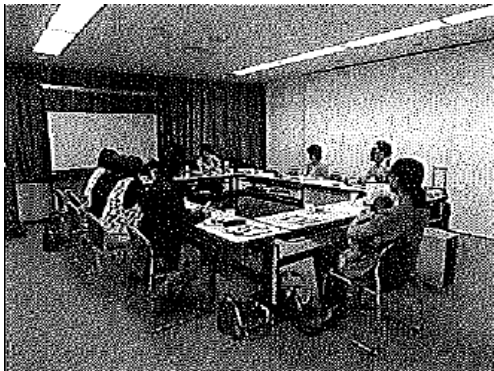
団体名	特定非営利活動法人宝塚NPOセンター
活動テーマ	避難者によるセルフヘルプグループと支援団体とのネットワークづくり と避難者を就労につなげるための講座の開催



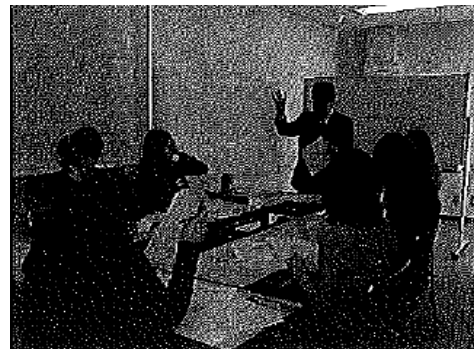
第2回被災者支援ネットワーク会議 (7.2)
(西宮市 つむぎの家にて開催)



第1回「避難者のための就労支援講座」
(マナー講座) (2013. 1. 11)



第4回被災者支援ネットワーク会議 (9.7)



第4回「避難者のための就労支援講座」
(就職するための基礎知識) (2013. 1. 31)

兵庫県内に点在している避難者のセルフヘルプグループのネットワークを構築するために「被災者ネットワーク会議」を6月より定期的に月1回開催してきた。参加セルフヘルプグループは、「避難ママのお茶べり会」「ぷらっとホーム」「べこっこママ」「Oracleitami」、支援団体は「都市コミュニティーセンター」「市民活動センター神戸」である。会議では、各グループの活動状況や情報の発信、また避難者の状況から見える課題について話し合ってきた。また、このような会議をもつ一方、セルフヘルプグループの活動支援として、すぐに活動に生かすことができる「アロマハンドマッサージ講習会」も行った。毎月ネットワーク会議をもったことで、セルフヘルプグループ同士のつながりができ、同時に避難者を支援する団体とのネットワークの構築もできた。

年度後半では、前4回の会議かた、こちらに避難している多くが母子避難であり、被災地で生活する夫と避難先で暮らす母子の二重生活からくる経済的負担が、大きな問題となっていることがわかり、避難者の経済的不安を少しでも解決することに向けて、将来就労につながるためのきっかけづくりとして講座を企画。1月11日から5回シリーズで『避難者のための就労支援講座』を開催した。講座内容は、「マナー講座」「メイクアップ講座」「パソコン講座」「就労するための基礎知識」「在宅ワーク」についてである。のべ30名の参加者があり、中にはこの4月からの就労につながった方もいる。「震災から2年が経ち、ようやく少し動き出さないとはいけなかったところ、この講座があって参加した、前に踏み出すためのヒントを得ることができた」との声もあり、前半の被災者支援ネットワークづくりとともに、一定の成果を得ることができ、全体として次年度の避難者支援にもつながる活動となった。